



琥珀石 - みとろ -



医療センターからの お知らせ

内科、循環器内科、呼吸器外科及び眼科（火曜日のみ）の受診には、医療機関からの紹介状が必要です。腎臓内科、脳神経内科及び皮膚科（火曜日のみ）の受診には、地域医療連携室を介した紹介予約制です。

救急の場合は、この限りではありません。直接、救急外来に電話で相談してください。

—基本理念—

私たちは、すべての患者さんの安全と権利を守り、良質な医療環境のもとに、安心して適切な医療が受けられる病院をめざします。

—基本方針—

1. 患者さんと職員の安全確保
2. わかりやすい説明の工夫と守秘義務の順守
3. 医療の質の向上、チーム医療の充実、全人的医療人の育成
4. 地域医療の連携強化
5. 自治体病院としての公共性を追及

診療科紹介

脳神経外科

新宮市立医療センター脳神経外科は2024年4月1日現在、医師3名の体制で診療を行っています。CT/MRIなどに加え血管撮影装置も使用し、脳血管障害（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血、硬膜動静脈瘻、未破裂脳動脈瘤、頸動脈狭窄症）や脳腫瘍（基本的に良性脳腫瘍や転移性脳腫瘍）、頭部外傷、脳膿瘍などに対して治療を行っております。特に脳卒中診療としては、新宮保健医療圏

に加え近接する田辺保健医療圏（本宮町）や三重県東紀州医療圏（紀宝町、熊野市など）など広範囲に及び患者さんを受け入れています。また脳神経内科とも連携しており、合同カンファレンスを行い患者情報や治療方針の共有をしています。

手術件数としては年間100例前後、その内手術顕微鏡使用症例は30%程度となっております。脳動脈瘤に対しては脳動脈瘤ネッククリッピング術を第1選択として行っております。また、脳内出血については開頭血腫除去術や定位的血腫除去術を、重症脳梗塞に対しては救命目的に減圧開頭術を、頸部内頸動脈狭窄症に対しては脳梗塞再発予防目的に頸動脈内膜剥離術を行っております。他には脳腫瘍（主に髄膜種・転移性脳腫瘍）に対して開頭腫瘍摘出術や定位的脳腫瘍生検術、顔面痙攣・三叉神経痛には微小神経血管減圧術、頭部外傷における開頭血腫除去術や穿頭血腫除去術など様々な治療を行っております。

2023年7月より当院でも脳血管内治療（いわゆるカテーテル治療）を開始しており、頭蓋内血管閉塞による急性期脳梗塞に対して機械的血栓回収術や前述の頸部内頸動脈狭窄症に対して頸動脈ステント留置術を行っております。特に機械的血栓回収術については、症状増悪・脳梗塞増大を防ぐ為に可能な限り早期の血流再開が望ましく、当地域での急性期脳梗塞患者の症状改善に貢献できればと考えています。

これからも当地域の病院・開業医の先生方とも連携を取り、脳神経外科診療を行ってまいりますのでよろしくお願いいたします。



令和6年3月～7月 研修会



研修報告

令和6年3月7日(木)

南紀在宅医療・介護連携推進協議会共催
特別講演「能登半島地震DMAT派遣活動報告」
講師：新宮市立医療センター
龍田 浩一 先生

現地での活動状況と今後起こりうるであろう災害に対する備えと対応について情報を共有できた。

令和6年5月27日(月)～6月17日(月)
オンデマンド配信

「糖尿病ケア 薬物療法の基本」
講師：新宮市立医療センター
城台 咲子 看護師

薬剤療法の基本とリブレについて、わかりやすかったとの意見が多く聞かれた。

令和6年7月18日(木)

「脳卒中診療における血管内治療」ハイブリッド研修
講師：新宮市立医療センター
脳神経外科部長 川端 将之 先生

最新の血栓回収療法について、画像を使用しわかりやすく説明され理解できた。

令和6年7月20日(土)

「安全な食事介助とは」
講師：新宮市立医療センター
速水 恵 看護師

「食べる」という人としての基本的欲求を満たしながら、安全に介助することの大切さを学習できた。今後のケアに活かせる自信がついた。

職場ウォッチング

血液浄化室

血液浄化室は、3階の東側にあり、30床のベッドを有しています。当センターは、新宮、東牟婁郡のほか本宮や奈良県、三重県南部の広域にわたり透析医療中核施設としての役割を担っています。また、地域や行政と連携して、防災時の透析対策にも積極的に取り組んでいます。

スタッフは、透析技術認定士、慢性腎臓病療養指導看護師、腎臓病療養指導士、CAPD 認定看護師などの資格を持っており、外来と手術や合併症のために入院された患者の透析を行っています。月・水・金曜日は午前、午後の2クール、火・木・土曜日は午前の1クール制で行っています。



治療内容は血液透析、血液濾過透析、腹膜透析、血漿交換、吸着療法、腹水濾過濃縮再静注法に加え、HCUでの血液透析も行えるよう透析機器を配備しています。

透析に至っていない保存期腎不全患者には、腎代替療法（血液透析・腹膜透析・腎移植）についての説明を看護師が行っています。また、透析に至っていない腎不全悪化予防のための教育入院や、透析中の運動療法（腎臓リハビリテーション）も実施しています。

スタッフ全員が笑顔でコミュニケーションを大切に、明るい雰囲気の中で安全に治療を受けていただけるように努めています。

【心不全・心臓リハビリテーション】をご存じですか？

リハビリテーション科 循環器認定理学療法士 心臓リハビリテーション指導士 須崎 由香

第2回「心不全の心臓リハビリテーション」をご存じですか？

今回は「心不全の心臓リハビリテーション」についてお話しします。

当院は当地域唯一の心臓リハビリテーション実施施設であり、心不全で入院された患者さんほぼ全員に実施しています。

「リハビリ」と聞くと脳卒中や骨折などで体を動かす訓練を想像されると思いますが、心臓リハビリでは「運動」だけでなく、「食事」や「お薬」、そして患者さん自身が自分の病気や体の状態について学ぶ「患者教育」全てが含まれます。当院でも医師・看護師・薬剤師・栄養士・理学療法士が一つのチームとなって、心不全の患者さんを多方面からサポートし、心臓リハビリに取り組んでいます。

心不全は完治する病気ではないため、退院後は患者さん自身が上手に自分の病気と付き合い、心臓リハビリを実践していく必要があります。具体的には、お薬や食事の管理以外に息切れ・むくみ・体重増加の有無や血圧・脈拍・活動量を日々観察し、心不全増悪のサインがないかを自分でチェックしてもらい

ます。毎日、体の状態を記録することは、心不全増悪の早期発見につながり、予後の改善にも繋がるとされています。

今後、心不全が爆発的に増える心不全パンデミックに備えて、医療者だけでなく患者さんやご家族が心臓リハビリについて正しい知識を身につけ、実践していくことが大変重要なのです。食事やお薬についての詳しい内容は紙面の都合上割愛しますが、次号では心臓リハビリの柱の一つである「運動」についてお話ししたいと思います。



※当院では心不全手帳を用いて毎日の状態を記録してもらっています。

院内デイケアの紹介

【院内デイケア】

入院生活の中ではどうしても治療が中心となり、普段の生活と違った環境でストレスを感じてしまうことも多いのではないのでしょうか？ さらに、ベッド上で過ごすことが多くなるため運動機能が低下し、環境の変化から、せん妄や認知症状が進むこともあります。

このような状況を改善させるため、当院では定期的に院内デイケアを開催しています。

院内デイケアとは、身体や認知機能の低下予防や気持ちの安定を図るため、何人かで集まって色々なレクリエーションを行うリハビリの一つです。

みんなで一緒に楽しみながら、簡単な体操やゲームをしたり歌を歌ったりすることで、色々な人と関わることができ、周りへの興味や関心も持つようになっていくと思います。そういうことが元気の源になり、治療やリハビリももっと頑張ることができるのではないかと考えます。

【院内デイ活動風景】



棒体操や座ってできる
体操を行っています



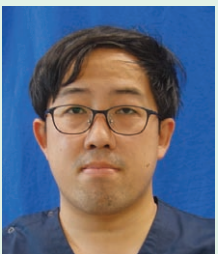
童謡・唱歌・流行歌など
懐かしい歌をうたいます



最後には皆さんで大きく深呼吸

ホワイトボードで日付や天気などを確認した後、体を動かしたり、歌を歌ったり、ゲームをしたりします。活動後、「楽しかったよー」と言って下さる患者さんもおられ、私たちも元気をいただきます。これからも楽しみながら活動ができるよういろいろなことに取り組んでいきたいと思ひます。

◆◆◆◆◆新任医師の紹介◆◆◆◆◆



消化器内科 部長
たき しんや
瀧 真也
消化器内科を中心に診療しています。新宮市での勤務は初めてですが、よろしくお願ひいたします。



整形外科 医員
かどの あおぞら
角能 青空
努力・感謝・笑顔をモットーに、皆さまの人生を豊かにするひとりとして頑張ります。

◆◆◆◆◆退任医師の報告◆◆◆◆◆

氏名	診療科・役職	退任日
青木 稚人	産婦人科医長	令和6年5月19日
前島 秀哉	消化器内科部長	令和6年6月30日
川村 晃大	整形外科医長	令和6年6月30日
上野 駿	泌尿器科医長	令和6年6月30日

◉◉◉◉◉ 編集後記 ◉◉◉◉◉

朝晩涼しくなり、外で活動しやすい季節になりました。

ところで、今年の7月7日に「紀伊山地の霊場と参詣道」が世界遺産登録20周年を迎えました。和歌山県内でも、熊野古道のウォークイベントをたくさん開催しているみたいですよ。最近、登山に熱中している私ですが、熊野古道を歩いたことは二度しかありません。20周年を機に、健康増進のためにも歩いてみようと思ひますが、みなさまもいかがでしょうか。 (384)